

TKC神奈川会が、神奈川県中小企業団体中央会主催のインボイス対応セミナーを支援

■とき…令和4年6月15日(水)

■ところ…神奈川中小企業センター

TKC神奈川会は、神奈川県中小企業団体中央会からの要請を受けて、同会が主催する「聞いて！知って！納得！インボイス制度対策セミナー」を支援するため講師を派遣した。当日、セミナーには約30名の事業者等が参加した。

自社発行請求書等の確認から始めよう

講師を務めた神奈川会の友野祐司会員は、セミナー教材としてTKC全国会システム委員会が監修



講師を務めた友野祐司会員

した『電子取引・インボイス対応ワークブック Vol.2』をメインとして、『Q&A消費税インボイス制度開始に向けて準備すべきことは？』『Q&A全事業者が対象！改正電子帳簿保存法により必要となる対応とは？』の計3冊を使用。インボイス制度の概要から制度導入に向けて各事業者が把握しておくべきチェックポイントを90分間でわかりやすく解説した。

はじめに友野会員は、「適格請求書発

行事業者の登録はお済みで

すか？」と問

いかけたうえ

で「令和5年

10月のインボ

イス制度開始

直後から適格

請求書発行事

業者になるた

めには、原則

令和5年3月

末までに発行

事業者登録を

行う必要があ

ります」と期

限が迫ってい



ることを強調。

また、優先すべき具体的な手順と理由について「最初に着手すべきは自社が発行する請求書等の確認です。他社から送られてくるインボイスの様式は来年にならなければ判明しませんが、自社発行の請求書等については、それをどう変更するのか、いつまでに誰がどのように対応するのかというのをすぐに検討することができません」と述べた。

準備に役立つ教材があり前向きになれた

セミナー終了後の質疑応答は予定時間を大幅に超過して30分に及び、参加者の関心の高さがうかがえた。

また、アンケートでは「インボイス制度への対応は、自分なりにいろいろ調べてはいたが、本セミナーに参加することで復習にもなり、新たな知識を得ることもできました」「実際の準備に役立つ教材に沿って具体的に説明していただけたので、対応に向けて非常に前向きになることができました」等の声が寄せられた。神奈川会では今後も制度対応に向けた積極的な取り組みを継続していくという。

(TKC出版 米倉寛之)